

「離岸流」に注意しましょう！

海水浴場や海岸付近では、「離岸流」と呼ばれる流れが発生することがあります。「離岸流」は、岸から沖に向かう流れで、波打ち水際で泳いでいる人が「離岸流」により沖に流されてしまうことがあるため、大変危険です！

また、「離岸流」は海岸であればどこでも発生する可能性があります、その速さはオリンピックの競泳選手並みの速さになることもあります。

このような速い流れの「離岸流」に遭ったら、

- ① まずは慌てないで、落ち着いて、付近の人に対して助けを求めましょう！
「離岸流」の幅はわずか10m～30mといわれています。
- ② 岸に向って（流れに逆らって）泳がず、海岸線と平行に泳いで「離岸流」から抜け出すこと。その後は無理なく岸へ向けて泳ぐことができます。



また、海水浴では「離岸流」に注意するほか、以下のことにも注意しましょう。

- 過労や睡眠不足など、**体調不良時や飲酒後は泳がないこと。**
- 防波堤や離岸堤及び突堤など、**人工構造物の近くでは泳がないこと。**
- 遊泳禁止場所や遊泳禁止発令時のほか、**天気が悪い日には泳がないこと。**
- 小さな子供さんが海に入っている時は、**保護者の方は子供から絶対に目を離さないこと。**

大分：神崎海水浴場（H29. 6. 13）
波打ち際から沖合約 80m まで伸びた



(※鹿児島大学西教授より画像提供)

離岸流については、第七管区海上保安本部海洋情報部 HP で情報提供しています。

< http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN7/marin/rigan/rip_current.htm >

問合せ先：第七管区海上保安本部海洋調査課 TEL093-321-2934(内線 2535)

